

## ■MICE 誘致促進委員 (MICE アンバサダー)

## (1) 新MICE アンバサダー



## 浅間 一(あさま はじめ)

東京大学大学院工学系研究科精密工学専攻 教授。  
サービスロボティクス、自律分散・空間知能化、移動知・脳内身体表現、サービス工学等の研究に従事。日本機械学会船井賞(2009)、日本ロボット学会功労賞(2013)等多数受賞。福島原発の廃炉や災害対応のためのロボット技術の活用、社会実装、国際化の活動にも従事している。



## 栗原 祐司(くりはら ゆうじ)

東京国立博物館総務部長 兼 独立行政法人国立文化財機構本部事務局長。  
国際博物館会議(ICOM)日本委員会 委員、全日本博物館学会役員、日本展示学会理事、日本ミュージアム・マネジメント学会理事等多数兼務。博物館の活用を積極的に進め、日本の博物館の国際的発展に尽力されている。



## 陳 隆明(ちん たかあき)

兵庫県立リハビリテーション中央病院参事 兼 ロボットリハビリテーションセンター長。  
兵庫県立福祉のまちづくり研究所長。国際義肢装具協会(ISPO)日本支部会長。  
ISPO本部理事。医師としてリハビリ医療に携わり、義肢装具の臨床や研究を行う一方、大学や研究所、企業と連携し、最先端ロボットテクノロジーを駆使したリハビリの推進と、臨床・介護現場のニーズに合致した真に必要なロボット機器や技術の開発に取り組んでいる。



## 原科 幸彦(はらしな さちひこ)

千葉商科大学・政策情報学部長、東京工業大学名誉教授。  
国や自治体等の公的機関で環境アセスメント制度の整備に尽力、環境アセスメント研究の第一人者として国内外で知られている。国際影響評価学会(IAIA)で日本人初の会長も務め、国際協力機構の異議申立審査役など、国際協力分野でも貢献。千葉商科大学では、環境計画・政策について教育研究を行っている。IAIAの最高賞であるRose-Hulman Award をアジアで初めて受賞した。



## 福山 秀直(ふくやま ひでなお)

京都大学 大学院医学研究科附属高次脳機能総合研究センター センター長。  
ヒト脳機能マッピング学会運営委員。ポジトロンCT(PET)や、MRIを使用して脳内のさまざまな機能や物質を画像化し、認知症患者や、人間の脳機能の仕組みを研究。  
2012年に神戸で開催された\*IEEE/ICMEでは、Advisory Council Chairを務めており、専門分野だけではなく、工学分野など多岐にわたって活動を行っている。

\*IEEE/ICME: 医学と工学の共同分野に関する複合医工学のための国際会議

(50音順、敬称略)

## (2) 平成25年度委嘱MICEアンバサダー



### 池田 康夫(いけだ やすお)

早稲田大学理工学術院大学院先進理工学研究科 特命教授。慶應義塾大学 名誉教授。2011年震災後にもかかわらず国際血栓止血学会(参加者:約6000名、開催地:京都)を成功裏に開催。その実績によりIAPCO(国際PCO協会)から2011IAPCOアワードを受賞。国際内科学会会長。



### 大西 隆(おおにし たかし) ※今回はご都合によりご欠席

内閣府日本学術会議 会長。豊橋技術科学大学 学長。東京大学名誉教授。都市計画・地域計画が専門。国土交通省の国土審議会政策部会長長期展望委員会の委員長、新たな「国土のグランドデザイン」構築に関する有識者懇談会の委員も務めた。



### 長村 義之(おさむら よしゆき)

国際医療福祉大学病理診断センター センター長。国際医療福祉大学大学院 教授。東海大学 名誉教授。国際細胞学会(IAC) 次期理事長。国際病理アカデミー(IAP) 副理事長。国際組織細胞化学会連合(IFSHC) 前理事長。積極的なロビー活動により、2016年の国際細胞学会(参加者:約5000名、開催地:横浜)の誘致に成功した。



### 木村 正(きむら ただし)

大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学講座 教授。附属病院副病院長、総合周産期母子医療センター長、産科長、婦人科長を務める。専門は生殖医学、産科学、婦人科学。国際産婦人科連合(FIGO)日本代表理事。アジア・オセアニア産婦人科連合(AOFOG)日本代表評議員も務める。「日本内分泌学会研究奨励賞」「日本生殖免疫学会賞」などを受賞。生殖医療専門医、婦人科腫瘍専門医。



### 小宮山 宏(こみやま ひろし)

株式会社三菱総合研究所 理事長。東京大学総長顧問。プラチナ構想ネットワーク 会長。化学工学、地球環境工学を専門とする工学博士。2005年に東京大学総長に就任。2009年より現職。著書に「日本「再創造」」(東洋経済新報社2011年)ほか多数。



### 水澤 英洋(みずさわ ひでひろ)

独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター病院 理事 病院長。日本脳科学関連学会連合 代表。一般社団法人日本神経学会 前代表理事。2017年世界神経学会議(参加予定者:約7000名、開催地:京都)の誘致に成功。文部科学省の脳科学研究戦略推進プログラムの拠点長や戦略的創造研究の研究代表者、厚生労働省のプリオン病研究の研究代表者などを務める。



### 宮澤 陽夫(みやざわ てるお) ※今回はご都合によりご欠席

東北大学大学院農学研究科・農学部 教授。公益社団法人日本栄養・食糧学会 会長。国際栄養科学連合(IUNS)理事。国際メイラード学会(IMARS) 会長、日本過酸化脂質・抗酸化物質学会会長、アジア栄養学会議(FANS) 常任理事等を歴任。2015年第12回アジア栄養学会議(参加者:約4000名、開催地:横浜)、及び2021年第22回国際栄養学会議(参加者:約4500名、開催地:東京)を開催予定。



### 山谷 泰賀(やまや たいが)

独立行政法人放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター、先端生態計測研究プログラム 生体イメージング技術開発研究チーム、チームリーダー。2012年ドイツ・イノベーション・アワード「ゴットフリード・ワグネル賞2012」最優秀賞受賞。

(50音順、敬称略)